



## 理事長 福代 一成

現在当組合は県内に11支部において全国理容連合会の下、経営の近代化・合理化を推進するべく様々な活動を行っております。

昨年は消費者に理容業界をアピールするイベント「1日を楽しく過ごすには理容サロンへ行こう！」をテーマとするイベントを実施しましたが、今年は物価の上昇に伴い、「儲かる業づくり」をテーマとした事業に向けて講習会を開催するなど活動をしております。

そのような中、SDGsへの取組みとしてはカーボンニュートラル実現に向けて、その1要素でもあるクールビズヘアをお客様に提案し、ドライヤーの使用時間を短くしたり、業界使用のプラスチック代替品への移行などの取組みも行っております。

また、自宅、施設等から出にくい高齢者、障害のある方への出張理容や理容サロンのデジタル化の推進に向けて、ヘアーサロンオンライン予約システムの推進を行ったり、組合組織への理解や事業への参加を促し、後継者育成に努める「ジュニアパートナー制度」の推進をしております。そして、新しいテクニックを取り入れた技術講習会、各支部単位での衛生講習会を開催。毎年9月の第二月曜日は理容ボランティア事業などの活動も行っております。

以上のような様々な組合活動を通して今後も組合加盟店の絆を深め、組織の強化を図ってまいります。

## 令和6年度役員

- |       |             |         |     |
|-------|-------------|---------|-----|
| ・理事長  | 福代 一成       | ・支部長・理事 | 15名 |
| ・副理事長 | 熱田 幹夫、山根 正男 | ・監事     | 2名  |

## 組合活動紹介

### ■学校へ出前授業

学生に、理容業の素晴らしさを講演し、実際にマネキンをカットして頂き髪を切る事の楽しさとテクニックの奥深さを知って頂き、後継者の育成に取り組んでいます。



■全国大会を目指して競技大会

毎年行われる全国競技大会に向けて島根県大会では選手たちは練習を絶やさず、切磋琢磨して日本一を目指して頑張っています。

昨年からは全国で初となる、理美容合同競技会開催で盛り上がりました。



■理容ボランティア活動

毎年9月の第2月曜日は、敬老会の前に施設への理容ボランティアを実施しています。



地域の公園、神社仏閣、宍道湖湖岸、稲佐の浜等の清掃活動をし、地域の方、観光に訪れた方に喜んでいただける取り組みを行っています。



■生き生きタオル活動（浜田支部）

浜田支部では、フェイスタオルやハンドタオル、バスタオル等を約600枚（段ボール4箱）福祉施設へ提供しました。



■ニューヘア、新技術、  
ITのセミナー開催

講習会を開催し、新しい技術、ITの仕組み、仕方等、講習会を開催し、技術の更新、今までの技術の見直し、お客様への接客等、勉強会を開催しました。



■共済事業の推進

共済事業は組合活動の大切な柱で、組合加盟店が「もしもの時に」安心をお届け出来る取り組みを行っています。



■絆を深める

レクリエーションを開催

グラウンドゴルフ大会を、東部、西部で年2回コミュニケーションをはかりながら、一番は、組合員同士、老若男女問わず絆を深める為に開催しています。





理事長 大嶋 朋幸

美容組合も早いもので、昨年65周年を迎えました。

先人の先生方がいかに美容師法を護り、今日に至るまで業界の道筋を作っていたかと思うと大変感慨深いものがあります。

美容業界も新型コロナウイルスという経験したことのない感染症に大変な思いを致しました。

その時に組合の皆様が立ち上がり、店内営業における感染対策をしっかりしてお客様、スタッフを守ることにご協力いただき、支部ごとに感染対策講習会を受講していただきました。そのおかげで組合加入のお店なら安心と地域のお客様がお店から離れる事なくご来店いただけるようになりました。この時ほど組合の一致団結力の強さと素晴らしさを痛感したことはございません。その結果、県内活動もしっかりと動き始め全国初となる理容美容による合同コンクールを始め収益力向上セミナー・ヘアー及び着付けの普及講習会・各支部への講習会等積極的に動く事ができるようになりました。

ただ近年島根県に限らず、組合員の減少が著しくおきています。これからはそのことが大きな課題になることは間違いありません。

デジタル化が進み世の中がAI化するなか、SNSの中での情報やインフルエンサーの影響力で、人と人との繋がりが薄れてきていると感じております。

美容組合に限らず地域の方々とのふれあいで成り立つ生活衛生同業組合は必要不可欠な存在です。ですので手を取り合って成長して参ります。

令和6年度役員

- ・理事長 大嶋 朋幸
- ・副理事長 山本 常夫、大森 京子
- ・常務理事 高橋 雅弘、岩田久美江、経種あつ子、樋野圭衣子、原田 智恵
- ・理事 森脇信太郎、柳楽 徹、藤井美奈子、土井真紀子、中島 京子
- ・監事 兼本 要、岩田 早苗

組合活動紹介

■法令を遵守し活動しています

【美容師法第1条第1項】

この法律は、美容師の資格を定めるとともに、美容の業務が適正に行われるように規律し、もって公衆衛生の向上に資することを目的とする。



美容師法の重要性を訴え続けて、「更なる進化！」を続けます。

## 更なる進化！

戦後、79年島根県美容組合も66年目を迎え若い美容師も沢山集い始めております。

美容師は特に美容組合が島根県全域、また鳥取県の美容組合の方々とも時には一緒に地域美容室営業を支え創り上げて参りました。

**全美容師** 美容技術にかかわる美容師さんに美容師法の重要性を訴え続けて参りました。

これからも、何と云っても美容師法で守られていますと美容法の重要性を全県美容師に協力を求めて参ります。



技術を研鑽するため各種大会を企画し、参加しています。

**第50回**  
島根県美容技術選手権大会  
理容、美容合同開催

2024  
**7.1**  
(月)  
10:00～

【会場】  
平田文化館プラタナスホール

全国大会に繋がる大会  
カット&ブロー  
ブロー&メイクアップ  
ヘアスタイリング  
中級美容師(人形)  
花嫁メイク(大規模会場)  
卒業メイク(学生)

島根県独自の競技  
ワインディング  
(美容師部門、学生)  
髪飾り(学生)  
メイク(美容師部門、学生)

11月18日(水) 全国大会、富山県開催！！





全国初となる理容美容による合同コンクールを始め収益力向上セミナー・ヘアー及び着付けの普及講習会・各支部への講習会等積極的に動く事ができるようになりました。



## 全国大会の様子

本年度は  
11月19日  
富山県で開催予定



生活衛生指導センター40周年に合わせ皆様と共に生活衛生の向上に一層取り組んで参ります。



理事長 町谷 修二

昭和41年組合設立以来、食肉販売業者へ衛生水準の維持・向上、消費者へ正しい知識の情報提供を行っております。

HACCP義務化は衛生管理推進に関するものであり、組合は関係機関、関連団体の実施する関連事業を実施して衛生管理等の徹底と組織の強化・活性化を図ってまいります。また、食品に対する安全性が問われており安全で安心な食肉を提供するための活動及び事業を実施しております。

令和6年度役員

- ・理事長 町谷 修二
- ・副理事長 荒木 保
- ・他理事 5名
- ・相談役理事 鈴木 幸通
- ・副理事長 村上 聖継
- ・監事 1名

組合活動紹介

HACCPに関する冊子（関連団体作成）の配布及び利用の推進を進めています。

確認作業（記録・記帳等）の徹底及び負担軽減を高めるためにデジタルツールを作成・配付する事業に協力しています。

**A 一般衛生管理計画書** (記載例)

※その他、施設や作業工程などの必要に応じて、衛生管理項目には必ず「実施方法」を記載してください。  
 ※食肉処理場を行っている場合は、食肉処理場の一般衛生管理計画書を共通様式として使用することができます。

作成者名、計画の制定日、又は変更日

一般衛生管理のポイント		作成者 番田 六郎	計画年度 2021年	制定日 2021年 2月15日
1 衛生管理の計画	① 施設などの洗浄・消毒	いつ	業務終了時に必ず「実施方法」を記載してください。	① 洗剤 (記録簿) の水・薬・シンプ・作業台等の汚りを確認、必要に応じて洗浄 ② トイレの洗浄は、業務の状況に応じて定めた頻度で実施 ③ 手洗、食器の洗浄は必ず行います。必要に応じて「衛生管理計画書」の項目を参照してください。
	② 設備管理	いつ	① 設備の点検、点検の結果を記録する	① 設備の点検、点検の結果を記録する
	③ 手洗い	いつ	① トイレの手洗い場を常に清潔に保つ	① トイレの手洗い場を常に清潔に保つ
2 食肉の衛生管理	④ 原材料の投入	いつ	① 原材料の投入、投入の結果を記録する	① 原材料の投入、投入の結果を記録する
	⑤ 汚染の防止	いつ	① 作業中「実施方法」を参照する	① 作業中「実施方法」を参照する
	⑥ 冷蔵等々の温度管理	いつ	① 冷蔵等々の温度管理、温度管理の結果を記録する	① 冷蔵等々の温度管理、温度管理の結果を記録する
3 食肉の衛生管理	⑦ 食肉の洗浄・消毒	いつ	① 食肉の洗浄・消毒、洗浄の結果を記録する	① 食肉の洗浄・消毒、洗浄の結果を記録する
	⑧ 食肉の包装	いつ	① 食肉の包装、包装の結果を記録する	① 食肉の包装、包装の結果を記録する

**B 一般衛生管理の実施記録書** (記載例)

衛生管理の「見える化」のポイントは記録です！  
まずは習得すること！

日々の記録をし、記録があった場合には、**✓**を入れ、その内容を書き留めておきましょう。

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2021年 6月																															
1 日	洗剤																														
2 日	洗剤																														
3 日	洗剤																														
4 日	洗剤																														
5 日	洗剤																														
6 日	洗剤																														
7 日	洗剤																														
8 日	洗剤																														
9 日	洗剤																														
10 日	洗剤																														
11 日	洗剤																														
12 日	洗剤																														
13 日	洗剤																														
14 日	洗剤																														
15 日	洗剤																														
16 日	洗剤																														
17 日	洗剤																														
18 日	洗剤																														
19 日	洗剤																														
20 日	洗剤																														
21 日	洗剤																														
22 日	洗剤																														
23 日	洗剤																														
24 日	洗剤																														
25 日	洗剤																														
26 日	洗剤																														
27 日	洗剤																														
28 日	洗剤																														
29 日	洗剤																														
30 日	洗剤																														
31 日	洗剤																														

※すでに記録簿等の備蓄で廃止種別などにより日々の衛生管理の点検・記録を行っている場合は、本手引書に替えて、既存の種別などを実施記録簿として活用できます。

★日々の衛生管理以外の特記事項  
 ◯がまった場合、実施点検、記録簿など、特記事項欄に記載するとともに、関係書類を保存しておきましょう。



■ 講習会

島根県生活衛生振興交付金事業による食肉料理講習・調理実習を開催しています。

内容は消費者を対象に栄養と健康及び衛生的な取扱い方法等の講習、講習の内容をふまえた実習です。



■ 啓発グッズ

関係機関の事業を実施して、消費者に正しい知識・情報を周知するために商材を作成・配布しています。





理事長 小村 慎二

現在、当組合は、県内に12支部をおいて公衆衛生の向上と経営の近代化・合理化を促進し、地域自治体と連携し、地域に根差した活動を行っております。

今年度は、飲食店営業の持続可能開発目標を定めたフードロスへの対応、プラスチック製品の削減等大きな目標とするSDGsへの取り組みを行います。SDGsへの積極的な取り組みを行うことにより今後の経営改善・経営戦略に

役立つものと考えています。

当組合は、今後も生衛組合の目的・活動を広く事業者に周知し、組合の組織強化を図ってまいります。

令和6年度役員

- ・理事長 小村 慎二
- ・副理事長 池田 直稔、上代 浩司、三澤 嘉孝
- ・専務理事 三澤 嘉孝
- ・理事 25名
- ・監事 亀地 憲二、多々納克美、渡邊 朋子

組合活動紹介

■各種セミナー及び講習会の開催



令和6年度生活衛生関係営業対策事業として、11月5日(火)、出雲市に於いて飲食店営業のSDGsについて、セミナーを開催いたします。また、併せて全組合員に対し意識の向上、取組みへの理解度を図ることを目的に中小飲食店営業のSDGsマニュアル及び取組み宣言ポスターを作成・配布いたします。

令和3年6月HACCPの義務化に備え、生活衛生関係営業対策事業として、平成30年早々に「HACCPに基づく衛生管理」について、出雲保健所長を講師に講習会を開催いたしました。また併せて、手引書を作成・配布し、組合活動の理解の促進に繋げ、組合加入促進を図りました。

令和6年度振興交付金事業として、浜田市に於いて、万九千神社宮司様を講師に「神まつりと奉仕の起源～サービス業の原点はここにあり」をテーマに講演会を開催し、80名の組合員が参加いたしました。



### 後継者育成支援事業

後継者問題に対する取組みとして、当組合調理師を講師に出前授業を開催しております。

令和2年度は、島根県立商業高等学校、1、2年生 45名を対象にそばに関する講話・実演・そば打ち体験を行いました。



■ 全国大会

令和6年6月、第61回全飲連全国石川県大会が、石川県立音楽堂に於いて開催され、全国から1,350名、島根県から22名が参加いたしました。

フードロス対策をはじめとしたSDGsの推進、キャッシュレスの利率引き下げを目指した対策委員会の立ち上げなど、組合としての力強い宣言を聞くことができ、我々飲食業従事者が団体として活動を行う事の大切さを知る有意義な大会でした。

来年は、三重県で開催されます。



■ 国・行政への陳情・要望活動

組織力を生かし、関連団体と連携しながら、国・行政等に対し、法律や制度の改善について、また様々な支援策について要望書を提出しています。

令和3年2月と8月に島根県知事に対し新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出いたしました。



■ 災害への対応

令和6年3月、能登半島地震の支援として、組合を代表し小村理事長が山陰中央新報社会福祉事業団を通し、義援金を贈呈いたしました。



### ■ 地域に根差した取組み

令和5年10月、県警本部に於いて、夜間の交通事故防止のため、小村理事長が反射材着用「キラリ推進隊」委嘱式に出席しました。



### ■ 青年部活動

現在益田支部22名で活動し、過去数年にわたり、益田川の清掃活動をしていましたが、現在は青年部の会員事業所も多く立ち並ぶ駅前にて清掃活動を行い、今年で第3回目となります。清掃を通して、防犯や危険な場所がないかを再確認し、より安全・安心な商店街にすることで街の活性化につなげることを目的とし、警察署、消防署、商店会、自治会、事業所などの皆様にお声がけし清掃活動、交流を踏まえたBBQを開催。加えて令和6年度は救命講習も行い社会貢献及び商店街の活性化に取り組んでいます。

また、昨年秋には、空港マラソン全国大会及びますだ産業祭へ出店し益田の「食」をPR。2月には皆で研修旅行（飲食店視察・懇親会）をしてその土地の「飲・食・人」を楽しみ、全国の組合青年部と交流を広げています。





## 理事長 植田 裕一

今年6月の総会にて理事長を拝命しました。

旅館ホテル生活衛生同業組合の植田です。

コロナも収束に向かい通常に戻つつあります。一安心をしているところです。

今回の役員改選にて次の時代を担う若手の起用を進めました。これからの時代は若手が自分事として取り組むことで自ら切り開く事が大切だと思ったからです。

当組合の重点項目として主に四つの項目を掲げました。

- ①組合員数の拡大を進めます。簡易宿泊施設も組合員になって頂き一緒に活動を進めます。
- ②事業承継問題にも取り組みます。地域の旅館ホテルが継続的に事業が出来、地域のお役に立てる様に努めます。
- ③コロナ資金の返済も行政と意見交換をしながら適正な返済が出来る様働きかけます。
- ④島根県は東部、中部、西部、隠岐と地域ごとに課題が違います。それぞれの課題について解決に向けて取り組みます。

活発な活動をいたしますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

## 令和6年度役員

- ・理事長 植田 裕一
- ・副理事長 金崎 公一、 武志俊太郎、 新宮 大輔
- ・専務理事 田邊 大輔
- ・常務理事 林 利宜、 定秀 陽介、 堀江 卓男、 金子 俊之、 佐々木 文、  
鶴田 英也、 横山 聡平、 横地 廉平
- ・理事 村上 裕司、 長谷川浩司、 井山 径、 青砥 洋、 西村 満幸、  
杉原 一幸、 柿田 岳史、 小川 進介、 浅津 喜弘、 林 朋宏、  
伊藤 誠二、 津茂谷卓史、 三好 源康、 渡辺 唯義、 竹谷 克則、  
佐々木健久
- ・監事 勝谷 有史、 上代 浩司、 曾田 利広

## 組合活動紹介

■ 振興交付金事業 記念講演会

演題 「直会 (なおらい) とは何か？  
～御神酒あがらぬ神はなし～」

講師 万九千神社宮司 鎌田 剛志 氏



万九千神社では旧暦の10月26日の夕方に、神々に出雲から出発する時が来たことを告げる儀式「神等去出神事(かさらでしんじ)」神様の直会が行われます。出雲では、この「直会」という言葉を、いわゆる「飲み会」であったり「打ち上げ」の意味で日常的に使っておりますが、起源や現代人への直会の効果などを拝聴し、神様をより身近に感じることが出来ました。また、宿もご縁を繋ぐ大切な位置づけであると改めて知る良い機会となりました。





東京ビッグサイトで開催されるホテルレストランショーと併設で、全国47都道府県の組合がそれぞれの県をPRする『宿フェス』に、島根県も毎年参加しております。今年は2日間で30,526名の皆様にご来場いただき、島根県ブースでは美肌体験や、鏡の池のレプリカを使った占いなどを行い、行列ができるほどの賑わいでした。







## 理事長 須藤 孝

クリーニング業界が直面する多くの課題に対して、組合一丸となって取り組んでいます。特に、環境保護や労働安全衛生の分野では、持続可能な未来を目指すために、SDGsや従業員の安全確保に努めております。

地域社会との連携を強化するために、9月29日のクリーニングの日において参加者から相談を受けるキャンペーンを実施しました。これからも、クリーニング生活衛生同業組合は、業界全体の発展とともに、地域社会への貢献を忘れず、消費者の皆様と共に歩んでまいります。

## 令和6年度役員

- ・理事長 須藤 孝
- ・副理事長 大成 清美、三好 正師
- ・理事 野津 照巳、高橋 健二、安岡 一正
- ・監事 津森 俊輔、中村 純

## 組合活動紹介

令和5年度振興交付金事業（地域における生活衛生関係営業の衛生水準の向上と振興に資することを目的に実施）を令和5年10月1日サンライフ松江で行いました。参加者には、クリーニング特殊技能研修会修了証をお渡ししました。



令和4年6月19日に、組合員の店舗において「アイロングローブ講習会」を行ないました。



■ 9月29日はクリーニングの日

お客様に染み抜き講習会を開催しました。



脱炭素社会実現のために取り組んでいます

## Cleaning × Carbon Neutral Project

### 脱炭素社会実現のためにクリーニング業ができること

**ACT. 0**

**大切な衣類を長く着用していただくお手伝いをします**  
 もともと私たちは汚れた衣類を「洗う」ことで清潔に再生し、繰り返し長く着用していただくお手伝いをするのが本業です。  
 私たちは今後もサステイナブルファッションの推進に全面協力します!

さらに…  
 地域と連携した「おさがり学生服」プロジェクト、古着回収ステーション、天然繊維素材への回帰運動等の取組みも今後活発化させていく予定です。

**ACT. 1**

**プラスチック資源の削減、循環促進に貢献します**  
 クリーニングで使用されるプラスチックハンガーやポリ包装の削減には、右欄記載の通りすでに先進的に取り組んでいますが、これを一層促進させ、高水準でのクロスドループリサイクルを目指していきます。

現状として…  
 ◇プラスチックハンガー⇒回収率 50%(うちリユース率 60%)、再生原料使用率 90%  
 ◇ポリ包装⇒18μ→10μに薄肉化 等

**ACT. 2**

**化石燃料からのエネルギー転換促進**  
 現在は、アイロン等に使用する蒸気を作るためのボイラー燃料や集配車両燃料等は化石燃料比率が高いのですが、今後は代替エネルギーの開発状況などを見据えながら化石燃料からの脱却を進めていきます。

**ACT. 3**

**石油系溶剤からの転換に向けた検討**  
 日本ではドライクリーニング用溶剤は石油系が主流で、これに代替する適切な溶剤がないのが現状ですが、今後は環境にやさしく、かつクリーニング用途に適した代替溶剤への転換について検討・研究をスタートさせます。

ポリ包装使用料管理システム

▼ハンガーのプラスチック削減対策

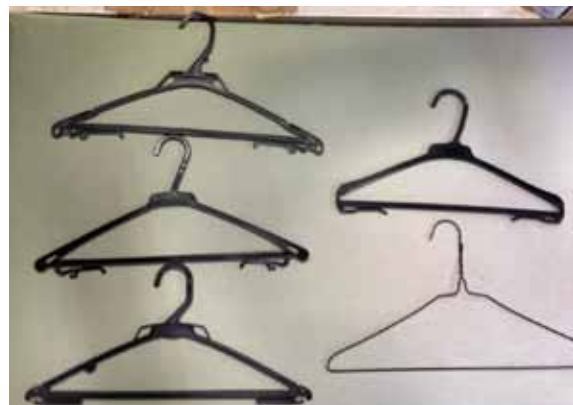
### ポリ包装使用料管理システムについて

一般社団法人グリーンライフ協会  
 環境保全対策部 環境・ポリ包装管理科 担当 角倉 靖也  
 (グリーンライフ協会HP内「ポリ包装使用料管理システム」)  
<https://claw.jp/kank-yoshizumi-center/ylastic>

◆クリーニング業界の課題  
 カリニントン業者で対応されるポリ包装は、主に「ポリプロピレン」製で、再生料が利用されず、資源として回収・リサイクルが困難なため、環境負荷が高いとされています。

◆使用料の透明化・記録に活用できる  
 ポリ包装使用料管理システム  
 ポリプロピレン製包装を削減するためには、カリニントン業者が「使用料の記録・記録等」に努めることがポイントとなります。

◆システム導入の主な手順  
 ①「導入したいクリーニング業者」に「導入したいポリプロピレン製包装」の情報を提供し、導入料金を算出。  
 ②「導入したいクリーニング業者」の導入料金を算出。  
 ③「導入したいクリーニング業者」の導入料金を算出。



クリーニング業はこれからも「プラスチック資源」の削減に取り組んでいきます。



◀包装資材



代表 大塩 健太

地域における興行産業の振興や、衛生管理の向上を目的とした取り組みを中心に取り組んでいます。

この活動により、地域住民の文化的生活の向上を図ると共に、興行産業の基盤を強化し、観光業や文化産業全体の発展に寄与するよう今後も継続した活動を行っていきます。

令和6年度役員

- ・理事長 宮崎 晴雄
- ・副理事長 大塩 健太

組合活動紹介

■ T・ジョイ出雲 組合活動紹介

7/26(金)公開

映画『仮面ライダーガッチャード ザ・フューチャー・デイ ブレイク』

出雲市・雲南市ロケ記念施策の実施

■ 実施期間：7/26(金)～8/31(土)

- ・『仮面ライダーガッチャード』による出雲市役所へ表敬訪問・  
神門通り練歩きイベント（ライダー・しまねっこの写真撮影会）

■ キャンペーン施策

- ① T・ジョイ出雲限定入場者特典・配布
- ② ロケ地イメージのスタンプラリー実施（絵柄：旧大社駅・出雲ドーム）
- ③ 半券プレゼントキャンペーン（応募条件:当劇場での本作の鑑賞+スタンプラリー参加）、  
賞品：映画オリジナルハンディファン
- ④ 作品ロケ地マップ・衣裳展示協力（島根フィルムコミッション主導）



仮面ライダーガッチャードとしまねっこの神門通り練歩き撮影会



パネル衣裳展示



キャンペーンポスター画像

### ■ 総 括

島根フィルムコミッションと出雲市観光課の協力により、県内だけでなく、全国の「仮面ライダー」ファンにも支持される施策となり、多くのお客様に喜ばれました。

公開日初日の表敬訪問やしまねっこと練り歩きイベントは、テレビ局2社（NHK・BSS）に取扱っていただき、ご当地ロケ地作品としてニュース番組やネット記事での露出拡大により話題が上昇しました。一方で、県外からの参加者も多数見受けられ、ロケ地誘致に繋がり、島根県を大きく打ち出せた施策となり、同エリア内（出雲市・松江市・日吉津村）で大変盛り上がりました。

前年同作対比：動員数 176.3% / 興収：173.7%  
 エリアシェア（3地区：上映率）：41.3%、キャンペーン  
 応募率（動員数に対する応募率）：8.7%

「興行組合」は、地域住民の文化的生活の向上を図ると共に、興行産業の基盤を強化し、観光業や文化産業全体の発展に寄与するよう今後も継続した活動を行って参ります。